

●『星空観察会 WINTER』が開催されました

12月14日(土)、田柄小学校にて、練馬の星空を楽しむ会ご協力のもと、PTA サークルおやじの会主催、「星空観察会 Winter」が開催されました。

昼間とは対照的に寒い夜となりましたが、夏と同様、たくさんの子供たちが集まりました。

はじめに、外で空を観察しました。校庭にずらりと並んだ大きな望遠鏡に、子供たちは興味津々。澄みきった空には、土星や金星が肉眼でも見え、「あっ、あった！」と、空を指して喜びました。

ぎょしゃ座のカペラという、冬のダイヤモンドを形成する恒星も見つけることができました。



次に角度を変えて、真上の空を見ることに。大きな望遠鏡が自動で動くと、「すごい！どうなるんだろう？」と、子供たちが次々に集まってきました。

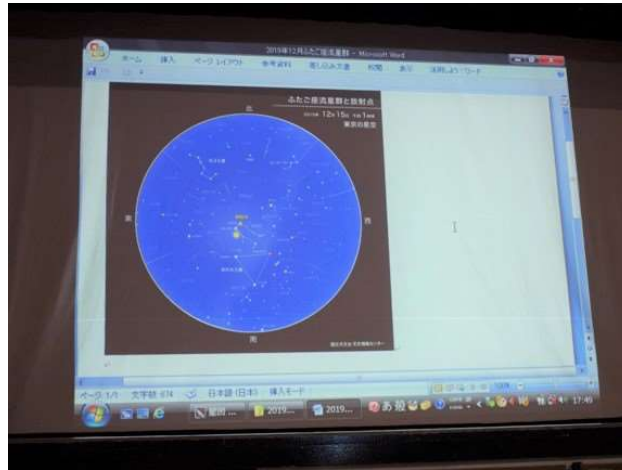
静かにのぞいてしばらく見つめると、アンドロメダ大銀河が、白い雲のように見えるのだそう。望遠鏡には、長い列ができました。



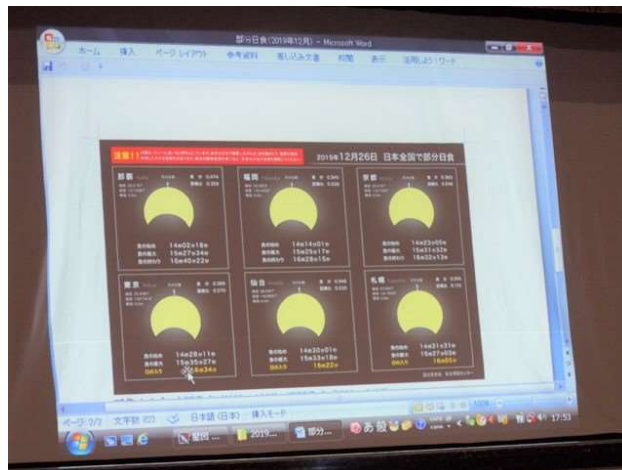
まっすぐの角度でのぞかないと見えず、難しい観察でしたが、見えた時には大人も感動。校長先生も、その姿をとらえることができたようです。



体育館では、プラネタリウムを見せていただきました。
今晚は、ふたご座流星群がもっともよく見える日とのこと。22時ごろから見え始め、2〜3個見えそう
だというお話がありました。冬の大三角形についても説明していただきました。



また部分日食は、地域によって、時間や形がだいぶ違うということが分かりました。
専用のグラスで、しっかりと目につけて見るという注意点とともに、実際に、専用シートを見せてい
ただきました。子供たちは次々に、じっとのぞいて見ていました。

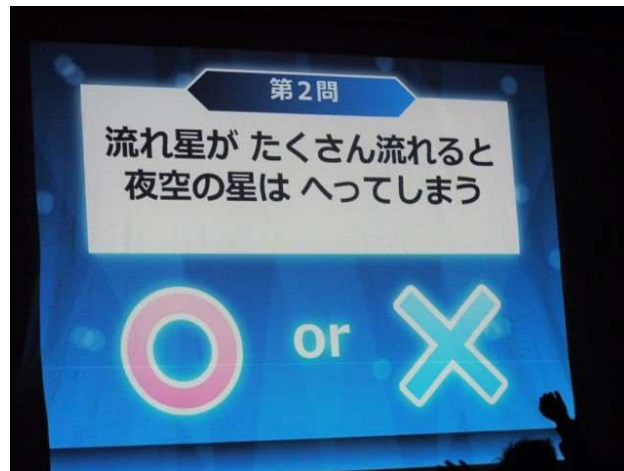


次はクイズコーナーです。楽しい問題の数々に、子供たちも大きな声で答えました。三日月が満月になるまでには12日くらいかかることを、月の満ち欠けの図を使い、分かりやすく説明していただきました。



流れ星の正体は星ではなく、宇宙の小さなチリが燃えている、ということに子供たちはびっくり。宇宙ステーションで暮らす宇宙飛行士の方が、浮かんでいる写真にも興味をもっていました。

日食は、月が太陽をかくす現象。今月26日には東京で見られるという話に、子供たちはわくわくしました。



プラネタリウムの後には、楽しみにしていた豚汁です。今年もおやじの会のみなさんが、たくさん準備してくださいました。体育館に広がるいい匂いには、長い行列ができました。寒い夜の豚汁は、とても体があたたまり、大人も子供も大満足でした。



夏とはまた違った星空を眺めることができ、友達や家族との貴重な時間になりました。
準備をしてくださった練馬の星空を楽しむ会、そしておやじの会のみなさま、楽しい時間をありがとうございました。

